



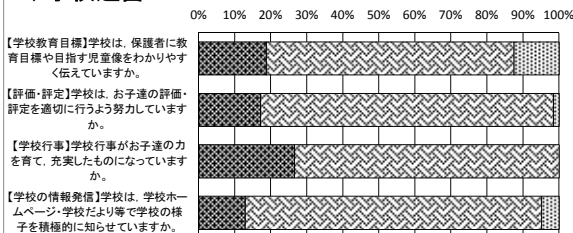


保護者アンケート の結果と考察

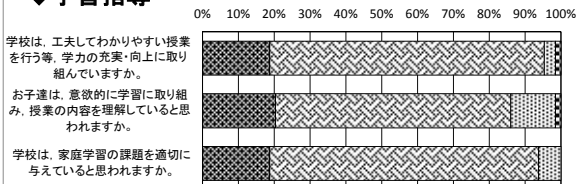
 A よく出来ている
  B 出来ている
 C あまり出来ていない
  D 出来ていない

◆学校運営



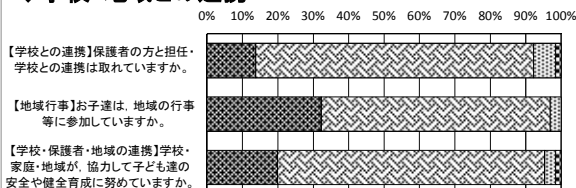
総じては昨年度同様高い評価をいただいています。昨年度懸案であった情報発信は厳しい評価がなくなり肯定的にとらえていただけているようになりありがたいと思います。逆に教育目標についての意見がBからAとCへと分かれて変化しました。工夫の必要を感じました。

◆学習指導



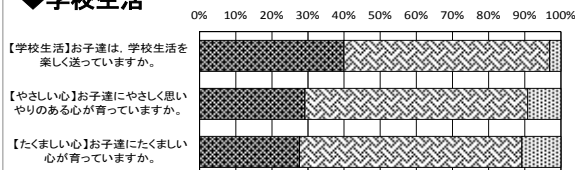
総じては高い評価をいただいているのですが、昨年度より若干評価が下がっています。その中でも、「意欲的に学習に取り組み、授業の内容を理解している」において、引き続き二桁の高いポイントを示しています。学習指導の項目は教育の要であり、より子どもたちが学習に意欲を示しつつ、学び知につながるような指導の工夫を行っているところですが、さらなる改善の工夫を行っていきたく思います。

◆学校・地域との連携



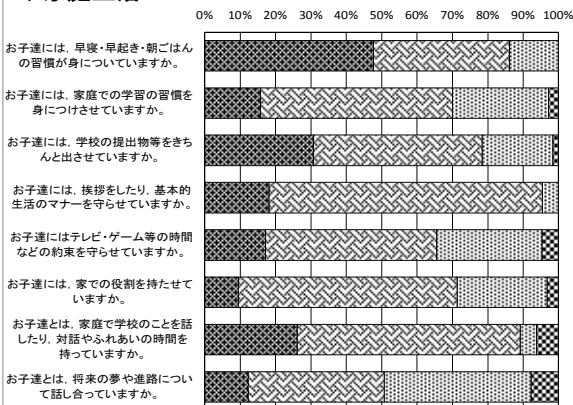
総じては高い評価をいただいているのですが、昨年度に比して保護者の自己評価が低い方へ移行しています。その中でも、地域行事への参加度がAで-15ポイント、Bで+15ポイントと大きく変化しています。その中には、たまたま諸事情が重なり全て参加を逃した家庭もあるかと思いますが、今後もできる限り子ども達を地域と関わらせていただくことで、地域の方々にも子ども達を見守ってもらいやすくなります。また、参加することで子ども達も地域の一員として自覚を持って育ってくれると思っています。

◆学校生活



総じて昨年度の評価より小さな変化ながらも下がっています。楽しく送っているでは、Aが減って、Cが増えています。心についてもBの減少したポイントの多くが、Cに移っています。学校として、今一度子ども達を見つめ直し、子ども達の心に寄り添った教育を進めていきたいと思っています。

◆家庭生活



昨年度に比して保護者の自己評価が低い方へ移行しています。また、第1項目を除いてAが下がっていることが気になります。特に、家庭学習の習慣、提出物、テレビ・ゲームの約束、お手伝い等役割、将来の夢においてはC、Dの否定的な結果が増えました。お忙しい日々ではあると思いますが、基本的な生活習慣は基礎学力の定着に欠かせませんので、わが子と向き合う時間をしっかりと確保いただければと思います。

《意見》

授業参観では、分かりやすく楽しい授業をしてくださいました。また、1年生なので、うまくすすめておられ、子どもに対する接し方も大変勉強になりました。ありがとうございます。

運動会の時、お知らせで走る順、おどる位置を教えて下さり、自分の子の出番もよくわかりました。細やかな心遣い、うれしかったです。

少人数なので行事ごとに一人一人が活躍できて主役になれるのはメリットだと思います。

ブルの授業が…減っていますね。

いつもお世話になっています。ありがとうございます。夏休みのブル開放日をもっと増やしてほしいです。(保護者の当番日が増えてもいいです。子どものためなので)

夏休み中の補習日がもう少しあればいいなと思います。夏休み中とはいえ、先生方は研修などで忙しいとは思いますが、ご検討よろしくお願いいたします。

保護者が意見できる機会をもっと増やしてほしいです。

学校行事や参観日など、なにか一方的な気がしていますので。

通学時、車が来たらよけるなど、もう少し指導してほしい。細い道も多く、歩行者優先とは言え、マナーはしっかり教えてほしい。特に上級生に。

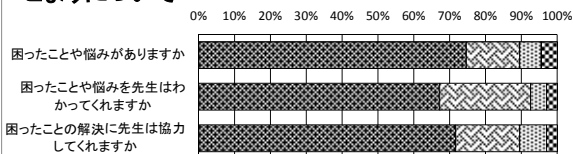
担任の先生の授業が面白いようです。字がきれいに書けるようになりました。

特に気になる子どもです。親は案じています。

《アイデア》

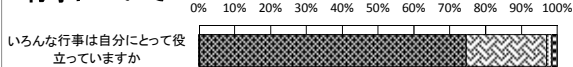
何事にも一生懸命取り組みれば必ず報われる時がくる!!

こまりにについて



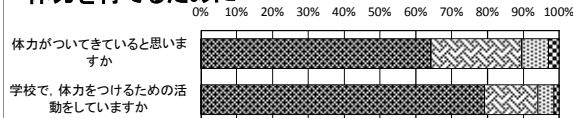
昨年と比べて、悩みや困りは解消されているものの、先生はわかってくれないが7ポイント、解決に協力してくれないが10ポイントもあります。悩みを先生に相談しにくいという面がまだまだうかがい知れます。しっかりと児童に寄り添い、個々の変容をしっかりととらえていくように留意していきたく思います。

行事について



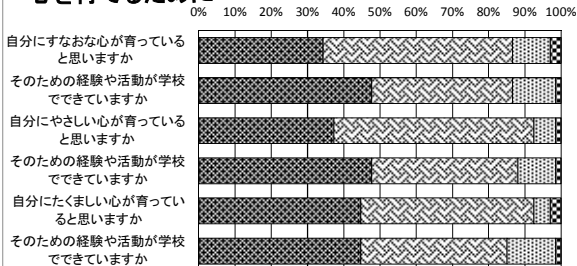
前年度に比してAが31ポイント上がっています。様々な行事をやりとげたことがこの結果につながったと思います。特に、高学年は全校を動かす役割であり、達成感が成長をより促しているようですし、そんな高学年を見て自分たちもという思いが出ているのでしょう。

体力を育てるために



昨年度に比してAが増え、B、C、Dがともに減っています。特に、体力をつけるための活動は40ポイント近く伸びました。このことから、児童が意識して体力づくりに励んでくれているということが分かります。

心を育てるために

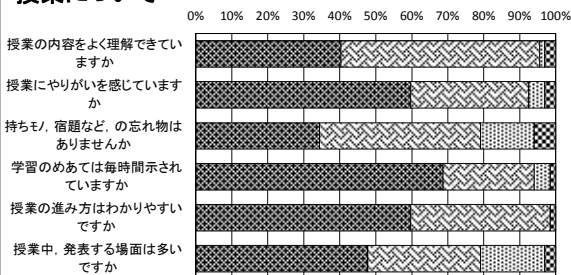


総じて昨年と同様結果となっています。ただ、Aを詳しく見てみると、すなおな心ややさしい心が育つための経験はできているが、育っているかというやや自信がないという傾向のようです。感謝などの声を掛けていくことで自信へとつながっていきたく思います。また、たくましい心については保護者よりも児童の方が高くなっています。案ずる以上に子どもはたくましいようです。

児童アンケートの結果と考察

■ Aよく出来ている ■ B出来ている ■ Cあまり出来ていない ■ D出来ていない

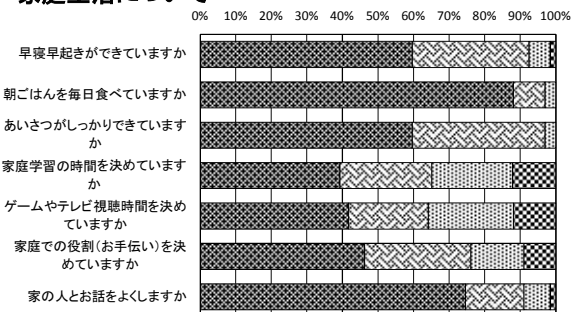
授業について



昨年に比して6項目中4項目については評価が上がっています。しかし、忘れ物については下がっています。このことは保護者の評価とも一致しているところであり、ご家庭のちょっとした声掛け等のご協力を仰ぎたいところです。

さらに、授業理解においてもA、Cが8ポイントほど下がり、Bが13ポイント、Dが3ポイント上がっています。全体としては肯定率が上がったとなるのですが、Aが下がり、Dが増えたことをしっかりと受け止めて、児童が自信を持って学習に臨めるように授業の工夫をしていきたく思います。

家庭生活について



家庭学習の時間やゲーム・TVの視聴時間、家庭での役割に落ち込みが見られます。家庭学習や役割については保護者も同じ傾向を示しています。家庭内での約束事を話し合っただけで家族の一員としての自覚を促していただけるとありがたいです。また、親子の対話やふれあいにも高い評価をいただいているのですが、その中に将来の夢なども盛り込んでいただければ幸いです。